

KAWAI

カワイ音楽学園 調律学科案内

目指せスペシャリスト！



カワイ音楽学園

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地
TEL (053) 457-1327 FAX (053) 457-1330
<http://www.Kawai.co.jp/gakuen>
E-mail: gakuen@kawai.co.jp



KAWAI ONGAKU GAKUEN



カワイ音楽学園

SINCE 1961

「夢」

咲かせましょう。

アーティストのさまざまな要求に応え、
時代とともに高まっていくピアノ技術へのニーズに応じ、
調律技術者の養成を通じて、
多くの人たちの可能性を発掘、育成しています。



澄んだ音、美しいハーモニーを造る。

調律学科の教育目標は

- ①カワイが世界に誇る、ピアノ造りで蓄積した技術に基づいたカリキュラムにより優れたピアノ調律技術者の育成を行う。
- ②高い知識を持った知性ある技術者の育成を行う。
- ③社会から信頼される、人格面でも優れた人材の育成を行う。
- ④協調と助け合いの実践を通して心の涵養を図る。

ピアノに対してより高い品質を求めるお客様が増えた昨今、調律師にもさらに高い技術力と音楽性が要求されています。これらお客様のニーズに応えるべく、当学園では、カワイが世界に誇る高度なピアノ技術を調律技術者にも反映させ、優秀な人材育成を行っています。

カワイ音楽学園調律学科(旧カワイピアノテクニカルセンター)では、半世紀以上にわたり優れたピアノ調律技術者を組織的に育て世に送り出してきました。現在、国内はもとより世界の舞台においてコンサートチューナーとしても数多く活躍しています。

カワイ音楽学園概要

- 受験資格：満18歳以上の男女
(入学年度 4月1日現在)で高校卒業(見込)以上の方。
- 修業年限：1年間
- 卒業後：河合楽器製作所の各支社及び工場、カワイ楽器特約店等に就職しています。

特徴

半世紀以上の歴史と経験に基づいたカリキュラム、設備、教材の整った楽器メーカー直営の調律技術学校。就職率はほぼ100パーセントに達しています。

■カワイ音楽学園『調律学科』の歩み

1961年 カワイ楽器ピアノ調律技術者養成所 設立
1965年 アフターサービスを担当する
(株)河合楽器サービスセンター 設立
1966年 社内研修制度として研究科、高等科を新設
1975年 (株)河合楽器サービスセンター付属
ピアノ調律技術者養成所 に改称
1980年 創立20周年記念祝賀パーティー開催
1987年 舞阪町に新校舎完成、
カワイピアノテクニカルセンター に改称
1989年 社内研修制度としてヨーロッパ研修を新設
1992年 女子生徒の募集開始
2007年 カワイ音楽学園と統合
カワイ音楽学園『調律学科』に改称

■カリキュラム

区分	授業科目	
一般教養科目		マナー 特別講座(講義、鑑賞) 接客実践
基礎教育科目	音楽理論	ピアノ音楽史 音楽概論 鍵盤楽器総論
専門教育科目	理 論	ピアノ概論 ピアノ構造論 音響学 音程論 調律論 整調論 整音論 張弦論 塗装論
	実 技	調律実技 アップライトピアノ整調実技 グランドピアノ整調実技 整音実技 張弦実技 塗装実技 修理実技 アップライトアクション組立 アップライトピアノ仕上



授業風景

調律師とは

ひとことでは「ピアノのドクター」です。

ピアノの素材は木材、羊毛等天然素材に加え最先端の新素材が組み合わされています。完成度の高いピアノのメカニズムはこれら多くの天然素材を高度な加工技術と設備によって、精巧に作られています。

「楽器の王様」といわれるピアノの優れた特性を十二分に発揮し、維持するためには高度な専門的「調律」「整調」「整音」の技術が必要となります。これらの技術は優れた材質や設計と同等に必要とされています。



▲グランドピアノ調律風景



▲グランドピアノ整調実習



▲張弦実習



▲アップライトピアノ仕上実習

徹底した個人指導ときめ細かな教育

ゆきとどいたマンツーマン方式で講師の厳格な要求に合格するまで教育が繰り返されます。更に放課後の自主練習も含めて納得いくまで、研修することができます。



▲学科授業風景



▲実習室



▲グランドピアノ調律ボックス内部



▲調律実習室



▲アップライトピアノ調律風景



▲アップライトピアノ調律ボックス内部

ピアノメーカー直営のため、いろいろなピアノの製造過程をいつでも「見る」「触れる」「体験する」することができます。また、実際にピアノを造っている方々と話すことは、調律師にとって、とても貴重な体験になります。



▲工場見学

恵まれた研修環境

カワイ音楽学園は国家検定試験1級の試験会場に指定されています。アップライト・グランドピアノ整調実習室をはじめ一人一室の防音調律室等、充実した設備が用意されています。

卒業後の主な進路

卒業後もカワイがバックアップ

当学園を卒業した生徒は楽器業界で活躍しています。

その中でも河合楽器製作所の各支社、工場、カワイ特約店にほとんどの卒業生が就職しています。

ピアノメーカーの教育機関ならではの進路です。



宮平 憲治さん

(21期生)
㈱河合楽器製作所
中部支社MPA
(コンサートチューナー)
ヨーロッパ研修 H.6～2年間
(一社)日本ピアノ調律師協会会員

調律の仕事始めて30年以上になりますが、今でも調律養成所(現カワイ音楽学園)の貴重な体験が私の土台となっています。以前から海外、特にドイツへ行ってみたい、という思いがあって其の為にはどのような仕事があるのかと考えていました。そんな時「ピアニストのミケランジェリは調律師も連れて来日!」と、言う新聞記事に触れ、これだ!と思ったのです。カワイに入社して約10年経ったとき海外研修6期生としてヨーロッパに2年間行くことが出来、夢が一步叶ったのです。カワイドイツを中心に、ヨーロッパ、アメリカの各地で修行することが出来ました。帰国後はコンサートピアノの製作にも携わり、又、コンサートチューナーとして仕事をしています。お客様、演奏者のピアノに対する要求は感覚的な事ですので、こちらの感性を常に高めていかないと、言われている事が理解できず要求に応えられなくなってしまいます。

同じピアノでも、弾き手によって求めるものが違い、それに合わせて調整しなければいけません。コンサートでなかなか思ったとおりにならず、悪戦苦闘の時もありますが、「とても気持ち良く弾けました」といわれた時は、音楽と一緒に作れたという満足感で一杯です。調律技術というのは、大変奥が深く、まだまだ未熟だと感じる毎日ですが、ピアノの可能性を最大限発揮出来る調整を習得するべく日々精進しています。



大久保 武さん

(18期生)
㈱河合楽器製作所
九州営業部MPA
(コンサートチューナー)
ヨーロッパ研修 H.1～2年間
(一社)日本ピアノ調律師協会会員

調律の仕事志したのは、音楽が好きだったこと、また、手に職をつけたかったからです。朝8時30分から夕方5時まで、学ぶことがたくさんあり5時以降も毎日自主勉強をして、あっという間に過ぎた1年間でした。全国から同じ志をもった仲間と出会い、たくさんの友人が得られたのも大きな収穫でした。

今は、お客さまのお宅をまわり調律の仕事をしています。ピアニストのように決して華やかな職業ではありませんが、音楽の無い社会は考えられません。ピアノを楽しむ人達のサポートをし、音楽文化に貢献していることが私の誇りです。



鈴木 康代さん

(34期生)
㈱河合楽器製作所
静岡営業部浜松店
(一社)日本ピアノ調律師協会会員



藤井 美名さん

(47期生)
㈱河合楽器製作所
本社調律サービス部
(一社)日本ピアノ調律師協会会員

調律の仕事は、奥が深く、技術には際限が無いので、卒業した今でも毎日の仕事が勉強の日々です。それが調律の醍醐味であり、やりがいがあります。

ピアノテクニカルセンター(現カワイ音楽学園)では、厳しい指導の下、同じ志を持った仲間が全国各地から集まり、共に調律の技術や将来について悩みを分かち合い、また、良きライバルとして、技術はもちろん、人間性を向上させていく環境でした。

調律以外にも、コンサートに行ったり、音楽全般の素晴らしさを勉強できたのも良い経験になりました。

今は、毎日大好きな音楽に触れ、多くの人と出会い、接し、少しでもよい状態にピアノを調整してお客様に喜びを与えることに幸せを感じ、充実した日々を送っています。



津川 奈々さん

(44期生)
㈱河合楽器製作所
東京営業部表参道店
(一社)日本ピアノ調律師協会会員

私はピアノが大好きで、将来ピアノに携わる仕事がしたい、ずっとピアノに触っていたい。

そのような思いで調律師を目指しました。

ピアノテクニカルセンター(現カワイ音楽学園)では、週に1回必ずテストがあり、とても大変でした。でも勉強することは決して苦ではなく、ピアノの構造、修理、調律など、毎日が新しい発見で、とても楽しくて充実した1年間でした。そして1年間過ごした仲間とは、一緒に悩んだり、喜んだり、時にはライバルにもなったり。今私にとってとても大切な存在です。

今の仕事は、お店に展示してある50台程のピアノの管理と、ご来店されたお客様の接客をすること。小さなお子様からピアニストと様々なお客様がいらっしゃいます。その中で調律師という職業を生かし、ピアノの構造からそれぞれのピアノの特徴など、よりわかりやすくご説明するよう心がけています。

また、私が調律、調整したピアノを気に入っていただき、現品を購入された時は、とっても嬉しくて、『調律師になって本当によかったな!』と思いました。技術はまだまだ未熟ですが、今後はお客様のご希望に答えられるよう日々努力をし、腕を磨き、そしてたくさんの人々にピアノの良さを伝えていきたいと思っています。



大嶽 寿宏さん

(11期生)
㈱河合楽器製作所
電洋工場MPA
ヨーロッパ研修 H.2～2年間
(一社)日本ピアノ調律師協会会員



鎌田 有喜さん

(20期生)
㈱河合楽器製作所
関東支社MPA
(コンサートチューナー)
ヨーロッパ研修 H.2～2年間
(一社)日本ピアノ調律師協会会員

※MPA(マスターピアノ・アーティザン)と呼ばれる社内資格

MPAは音づくりの職人としてフルコンサートピアノの研究開発や製作・仕上げに携わるとともに、世界各地の主要な国際ピアノコンクールにコンサート・チューナーとして赴き、ピアニストの高度な要求に応えています。